

第38回 東林ふくしまつり

令和7年11月16日(日)
10:00~14:00
とうりん こうみん かん
東林公民館

※駐車場はございません。徒歩・自転車でお越しください。

健康と福祉を
見て！
体験して！
知ってみませんか？

かぞくみんなで
きてね！

今年の
ようす





○健康測定コーナー
○福祉情報コーナー
○福祉器具展示
○ワークショップ
○手作りパン・草製品販売
○スタンダーでプレゼント
○にこまる君と写真撮影

○お野菜クイズ
○子育て情報の発信
○福祉車両展示
○喫茶コーナー
○子どもお楽しみコーナー
○公民館館長リサックス演奏会
○ミニ白バイ乗車体験

※内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

同時開催！ バザー (2階大・中会議室 整理券配布・9:30~)
子ども用品 おゆずり会 (1階和室 10:30~14:00)

東林ふくしまつり実行委員会
問合せ：東林地区社会福祉協議会(東林まちづくりセンター内)
TEL/FAX 042-705-3315 (平日 9:00~17:00)

令和7年度 社協新会員

- ・合同会社木人生活介護 のこのこ
- ・社会福祉法人 ちとせ交友会 東林間ちとせ保育園
- ・社会福祉法人 ちとせ交友会 上鶴間ちとせ保育園

— よろしくお願ひします —

寄付金

- ・公益社団法人相模原法人会大野南支部
..... 74,557円
- ・東林地区在住 匿名 36,133円

— ありがとうございます —

< 編集後記 >

- ヤングボランティア活動もっと広げていきたいですね。 (敬)
- 防災体験教室で学んだ中学生を頼もしく感じました。 (賢)
- ヤング防災ボランティア体験教室は自分の身を守ることを学ぶことにより家族などを助けることができることを体験します。 (匡)
- 地域の力と人の温もりに深く触れた視察でした。 (修)

東林ふくし

ホームページは
こちらから



東林地区 (令和7年8月1日現在)
人 口 41,624人
世帯数 22,479世帯
【発行】東林地区社会福祉協議会
相模原市南区相南1丁目10番10号
☎ (042) 705-3315

第18回
令和7年

ヤング防災ボランティア体験教室

— 災害時、自分の家族・まちを自分達で守る！

**中学生だから出来ること！
中学生ならではの役割を
地域の主役として体験してみよう！**

8月22日(金) 東林公民館にて東林中・上鶴間中・新町中・横浜隼人中・東海大相模中より20名が参加。体験学習に先立ち南区役所地域振興課 栗山直樹さんより、「自主防災について」最近起こった事例を基に災害に備える基本(自助・共助・公助)を、日赤奉仕団 野村辰美さんより、もし災害にあった場合の心構えと対処法など、昼間地元にいる中学生が地域貢献の担い手として期待されているとの講話後に8種類の体験学習に臨みました。

119番通報

スマホで救急を想定して実際に119番通報をしてみる。訓練とわかっていてもちょっと緊張！



AED訓練

AED機器とダミー人形を使い各人が操作体験。実際にやってみる体験は大事。私達も人命救助できます。



段ボールベット組み立て

リーダー役中学生が説明書を見ながら協力しながら組み立て。完成後さて寝心地は？



起震車体験

これが実際の地震というものか！！過去に起こった大地震の再現された揺れに言葉もなし！



消火訓練

設定した火元に向け、水消火器で初期消火体験。噴射10秒足らず、アッという間でした。



ロープワーク

いざという時、そして日常生活にも応用でき、知っていると役に立つ巻結び・自在結び・連結止め結び。



応急処置

災害時の負傷に身近なハンカチ・バンダナで手の甲、指の止血をお互いやってみる。こんな感じがナァ〜。



無線通信

固定電話・携帯の不通時に使い方や通信ルールを知り双方で通信体験！こちら本部ドーズ。了解以上。



腹減った

昼食に防災時非常食アルファ米とレトルトカレーを頂き、おいしい体験も！デザートにかき氷付き。



指導 相模原市赤十字奉仕団・相模原南消防署
運営協力 東林地区自治会・ボランティア団体

ヤングボランティア体験参加中学生の声

- ◎講話と実体験で地域の担い手としての自覚が出てきました。
- ◎自分たちにも出来る事が色々あると言う事がわかったいい体験でした。
- ◎去年も参加しました。今回体験科目も増え有意義でした。また機会があれば参加したい。

今回参加した中学生の真剣で熱意ある姿に地域の有力な担い手を感じました。期待してます！

地域に根ざす「寄り添い」と「支え合い」～船附山薬王寺東光院と平塚十全病院を訪ねて～

7月18日、地区社協では「居場所づくり」と「多世代交流」のあり方、医療と福祉の接点を知り、今後の地域支援活動に活かすことを目的に2つの施設を訪問しました。

【東光院】～地域に開かれた大磯のお寺～

ここでは、地域の人々が自然と集い、世代を越えて交流する「おむすび」という多世代食堂が開かれています。この取り組みの中心にいるのは、僧侶の古井昇空さん。「小さな町の小さな寺ですが、人に寄り添わせていただくのが寺の役割です」と語るその言葉通り、お寺は地域に開かれた温かな居場所となっています。「おむすび」は、

ただの食堂ではありません。誰かと一緒に食事を



する「共食」は、心の健康にも良い影響があると言われます。子どもも大人も高齢者も分け隔てなく、皆で作し、食べて、片付けるーそんな自然なふれあいが生まれています。古井さんは「この場所は、地域の人々が“やりたいこと”を自由に実現する場。今はたまたま食堂をやっていますが、食堂でなくてもかまいません」と話します。また、「福祉とはマイナスをゼロにすること。そこから先のプラスは、地域の力で築くものです」と、地域の主体性の大切さを強調されました。制度に頼るだけではなく、人と人とがつながり、支え合うことで生まれるあたたかさ。東光院の取り組みは、これからの地域づくりへのヒントを私たちに与えてくれました。

【平塚十全病院】～地域に根ざした医療療養の場～

自然豊かな環境の中に立地する平塚十全病院は、超高齢社会を迎える現代において、良質な医療・看護・介護の提供を使命とする療養型医療施設です。長期療養が必要な高齢者や慢性疾患の患者に

対し、一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな療養生活の支援を行っており、地域医療に大きく貢献しています。

当日は、副院長、看護部長、常務理事の方々から病院の理念や運営についてご説明いただいた後、院内の各所を見学しました。廊下は、他の病院の倍くらいの広さがあり、明るく清潔に保たれており、入院患者や面会者が穏やかに過ごしている様子が印象的でした。また、医療スタッフの方々の対応にも温かさや丁寧さを感じられました。医療と福祉が連携し、安心して療養できる環境を実現している施設であり、今後ますます求められる高齢者医療のあり方を考えるうえでも、大変示唆に富む視察となりました。



子育てリフレッシュ体操教室

子育てサロン母べえでは子育て中の保護者を対象に体操教室を開催しました。

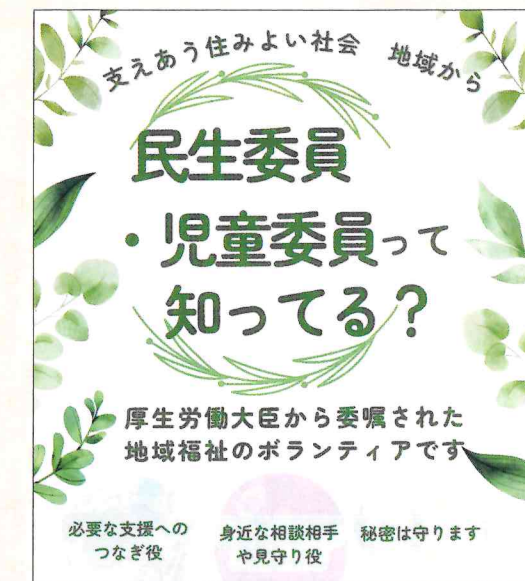
体操の指導にはシンコースポーツから2名のインストラクターが来て下さり「ストレッチのやり方がわかりやすかった」など参加者からの感想がありました。

例年は講演会を行っていた母べえですが今回は体操教室と保育を初めて取り入れました。今後は皆様からの声を取り入れながらより参加しやすい母べえにしていきたいと考えています。



3月15日(土) 午後1時～
東林公民館 大会議室 参加者9人

こんにちは 民生委員・児童委員です！



東林地区民生委員児童委員協議会
相模原市南区相南1-10-10
東林まちづくりセンター内
TEL 042-705-3315



東林第2 地域包括支援センターより

介護予防健康づくり はじめてみませんか？

いつまでも住み慣れた地域で元気に暮らしていくために、地域包括支援センターでは介護予防教室の開催や地域で行う、いきいき百歳体操等のグループ立ち上げなどを支援しています。今年度も介護予防教室から新たなサークル立ち上げに向けて話し合っています。

加齢や病気などで一度生活しづらくなっても、「再び出来るようになる」リエイブルメントを目標に、皆様それぞれが再び望む生活が出来るような取り組みを一緒に考えさせていただきます。

東林第2 地域包括支援センター TEL 042-705-8278



サロン紹介

金曜サロン (おしゃべりサロン)

翠ヶ丘自治会館にて毎月第三金曜日 PM 2:00～4:00
ゆったり流れるBGMと季節のお飲み物をご用意して、気ままなおしゃべりを楽しむ場を提供しています！
ご近所さんお誘いの上お気軽に足を運んでください。
年内開催予定日 10月17日・11月21日・12月19日

